



令和7年度 第1回学校評価のご報告

木々の葉も色づき、一段と秋の深まりを感じる頃となりました。日頃は本校の教育活動にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。9月に実施した「学校評価保護者アンケート」「元町っ子アンケート(子ども)」「教職員自己評価」の結果を総合的に分析して、今後よりいっそう推進すべき点や改善点について考察しました。限られた紙面ではありますが、以下に、ご報告させていただきます。

学校教育目標

自ら考え、夢や目標に向かって、積極的に行動する子の育成

～進んでチャレンジし、対話を通して学びを深める元町っ子～

目指す子ども像

「も」もっと学びたいと思える子ども

「と」ともだちを大切にできる子ども

「ま」まいにち笑顔で過ごせる子ども

「ち」チャレンジしながら、考えて話せる子ども

概要

今年度は、学校教育目標「自ら考え、夢や目標に向かって、積極的に行動する子の育成」を受けて、『対話力』『問題解決力』を高める授業の構築を研究主題としてあげて教育活動を進めています。昨年度から引き続き「対話力」「問題解決力」に重点を置きながら、今年度は特に、子どもたちが、「話したい」「問題を解決したい」というように意欲的に取り組めるような授業展開を工夫していこうとしています。

学校評価においては、学校教育目標の目指す子ども像(も・と・ま・ち)に照らし合わせて、評価項目を「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「学校独自の取組」と設定しました。今年度、昨年度と項目の内容を変更したり、新しく付け加えたりしたところもあり、比較できない項目も出てきています。

子ども対象の「元町っ子アンケート」は、今年も全学年オンラインで回答しました。多くの項目で80%以上が「できている」と答えています。自分の行動をふり返り、前向きに取り組むことができていると認識できる機会となったのではないのでしょうか。

保護者アンケートは、今回もすぐーるからオンラインで回答いただきました。昨年度に比べて、回収率は72%と、10%も下がりました。今回は、回収する時期を休日参観後の9月中旬としたために、少し期間も短くじっくりと回答していただく時間が不足していたかもしれません。回答していただいた保護者の皆様の色々なご意見を頂くことができました。ありがとうございます。全体を通して、ほとんどの項目で実現度は80%以上でした。「教職員自己評価」についても、多くの項目で実現度は80%以上でした。今後も学校と保護者が学校教育目標に向かって、協力し合って子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指していきたいと思えます。

今回の学校評価の結果やいただいたご意見などについては学校運営協議会でも取り上げて話し合いました。今後も皆様のご協力をいただきながら、一人一人の子どもを大切にしたいと思えます。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。第2回学校評価は、2月に予定しています。

○学校評価(子ども・保護者・教職員)の結果

実現度は『よくできている』・『だいたいできている』を合わせた数値

		質問項目	子ども実現度		保護者実現度		教職員実現度	
			R6	R7	R6	R7	R6	R7
学校生活	1	学校で楽しく過ごす	92%	95%	89%	94%	99%	100%
	2	進んであいさつをする	89	93	85	86	93	93
	3	夢や目標に向かってチャレンジしようとしている	84	85	84	83	100	93
(確かな学力) もっと学びたいと思える子ども	1	授業中に学習のルールを守る	89	87			100	100
	2	授業や帯時間の学習に集中して取り組む	85	86	80	84	84	92
	3	家で宿題や自主学習などに進んで取り組む	89	85	69	75	100	82
	4	本をよく読む	60	73	53		77	75
(豊かな心) ともだちを大切にできる子ども	1	誰とでも仲良くする	93	91	95	97	92	100
	2	相手の思いや考えをよく聞こうとする	92	96	86	94	100	100
	3	相手の気持ちを考えて行動する	94	95	93	95	100	100
	4	たてわり活動を楽しんでいる。	90	92	90	92	100	85
(健やかな体) まいにち笑顔で過ごす子ども	1	自分のことを好きでいる。(児) 子どもの良さを認めている。(保・教)		69		89		100
	2	自分の体や心を大切にする	90	95	99	100	100	86
	3	生活リズムや歯磨きなど健康に気をつける	85	91	87	89	100	77
	4	進んで外遊びや運動をする	86	84	84	79	93	77
	5	安全に気を付けて過ごす	96	97	94	94	97	92
(学校独自の取組) チャレンジしながら考えて話せる子ども	1	興味をもって学習に取り組んでいる	87	79	75		100	100
	2	友だちと話すことで考えを深めている	89	86			100	93
	3	課題や問題に自分から進んで取り組む	80	79			88	93
	4	タブレットを活用する	93	100	92	89	100	86

R 7 ①学校評価アンケート

教職員

■たてわり活動で特に有意義だと感じることは？

- | | |
|---------------|-----|
| 1. たてわり遊び | 33% |
| 2. 全校遠足 | 25% |
| たてわり掃除 | 25% |
| 3. たてわりごとの話合い | 18% |

■その理由は？

- 6年生がリーダーシップをとり、たてわりの仲間で楽しんだり、頑張ったり、声をかけあったりしようとする姿が見られるから。
- 年齢に関係なく互いに意見を交わし易いから。
- 縦割り活動では、高学年が低学年をリードしようがんばっている姿がみられるから。
- 子ども同士の縦のつながりが自然とでき、お互いを知るきっかけにもなっているから。
- 低学年は高学年の言うことを聞く、高学年は低学年に分かりやすく教える、などそれぞれの役割を様々な場面で繰り返し経験することができる貴重な活動だと思います。
- 異学年で交流することは、自分の視野を広げることにつながると考えるため。学級の人数が少ない本校にとっては、色々な人と交流することが特に効果的であると感じます。
- 異学年で活動することに、意義があると思います。
- 6年生の責任感を培える。また、低学年はあんな風になりたいという思いをもつことができる。
- 1～5年生にはこれからの目標となる姿（自分より上の学年）をもつよい機会になるから。6年生はいい意味で「自分がやらないとどうしようもない！」という状況が力をつけるきっかけになっていると感じている。
- 異学年で交流することで、クラス以外に、新たな集団との関りがもてるから。また、6年生がリーダーシップをとる良い機会となるから。
- 単級なので、異学年との交流の意味合いはすごく大きいと思うから。高学年はリーダーとして頑張る機会になり、低中学年のあこがれになれる場であるからたてわり活動全体が有意義なものであると思う。
- 年齢の枠を超えて協力することは、お互いにとってもいい影響を及ぼすと思うから。
- 他学年との交流で、子ども達の新しい一面を知れるいい機会になると思います。高学年はリーダーとして、みんなをまとめるいい機会になると思います。特に、クラスではあまり積極的に発言をしない子ほどそのような機会は重要になると思います。

△全校遠足も、大事だとは思いますが、ろ組の児童にとっては、少し負担があると思います。

→6年生がリーダーシップをとる良い機会となる、異学年との交流に良さを感じている。

育成学級の子どもの実態を考慮していく必要がある。

■職員会議や研修の回数や内容について

- | | |
|----------|-----|
| 適切 | 65% |
| 1回の内容が多い | 24% |
| 回数が多い | 6% |
| 回数が少ない | 6% |

■ ICTの活用について

今くらいがちょうどよい	58%
もう少し活用した方がよい	21%
もっと活用した方がよい	14%
その他	7%

➡ 現段階では、どちらともいえず、ICT 活用が有意義な場面とそうでない場面を見極めていく必要がある。

■働き方改革を進めるにあたって

- ・前から言われていることだが、根本的な仕事量は変わっていない。むしろ増えている部分もあると感じる中で、時間内に仕事を終わらせることが大変難しい。時間のかかることだが、運動会や学習発表会の学校行事などの抜本的な見直しが必要だと思う。ICTの活用が、授業準備等の仕事量の軽減につながると感じるので、教師間のICT活用の工夫の交流がもっと増やせればと思う。
- ・学校と言う末端の組織で、改革を進めるのは厳しいかと思います。一般社会の意識改革を啓発するような働き掛けを、上部組織でやっていただければと思います。
- ・チームズをもっと活用できると良い。それぞれの校務分掌の資料をきちんとセンターサーバーなどに保存して引き継いでいく。
- ・Teamsなどを使って、より効果的に情報共有を進める。一層のペーパーレス化。
- ・現場の人を増やすことと、管理職の勤務時間も減らしていかないといけないと思う。

→職員会議の回数・内容の検討、学校行事の内容の見直し、ICTの活用

R 7 ①学校評価アンケート 保護者

■学校費用について

- ・少人数の学校という理由で、子供の体験が貧弱になるのは良くないと思うので、保護者の費用負担を多少は大きくしても良いのではないかと思います。(4年)
- ・授業で使うものを家庭で準備することが多く負担に感じている。(1年)
- ・特になのですが、強いて言うなら使用期間が短かったり、使用頻度の低かったりする学用品などは、購入ではなく貸し出しでも良いのでは？と思うことがありました。(4年)

■学校行事、学校について

- ・同じ京都市の小学校でも、4年で自然学習(琵琶湖)に行く学校がありますが、その学校と、4年での宿泊学習の無い小学校の違いはなんですか？(4年)
- ・授業中、まわりがうるさくて授業に集中できません。改善されるとよいですね。(6年)
- ・中間休みと昼休みは学習の残りをやるのではなく、遊べる時間にしてほしい。(1年)
- ・元町っこマラソンを復活させて欲しいです。なくなって親子共々、残念に思っております。(3年)
- ・給食時間の参観があったらいいなと思います。(3年)
- ・近年の学習発表会が社会の発表のようなものが多いので、感情のこもった劇をして欲しいです。(4年)

- ・宿題の直しをきっちり学校でしていただき有難く思っています。漢字も日頃、小テストをしてくださっているので、宿題以外に勉強をする時間が増え、計画を持って取り組みます。(4年)
- ・いつもよく見てくださってありがとうございます！(6年)
- ・いつも丁寧な接し方をしていただきありがとうございます。子どものためになっていると感じています。(1年)
- ・授業参観有難うございました。(4年)
- ・運動会楽しみにしています！(5年)
- ・いつもありがとうございます。よくみていただいています。(6年)
- ・いつもありがとうございます。よく見ていただき、助かっています。(3年)
- ・理念に沿った教育をしていただいたら充分です。いつもありがとうございます。(2年)
- ・いつも楽しく参加しています。ありがとうございます。(4年)